

なんぷら新聞



特定非営利活動法人 なんでもプラス地域ネット
事務局 大和市下鶴間 182-3 Tel:046-208-3388

第17号 2011年3月27(日)発行 P1
Eメールアドレス: info@nanpura.or.jp

東北関東大地震の被災者の皆様に 謹んでお見舞い申し上げます。

3月11日、千年来の大地震と巨大な津波は壮絶な勢いで人や町並みを根こそぎ飲み込んでしまいました。私たちは被災者の皆様の不安や悲しみ大きさを推し測ることはできません。また、原子力発電所の事故による放射能被爆も多大な不安をもたらしています。ここに心からお見舞いを申し上げ一刻も早く復興の日を迎えることができますようお祈り申し上げます。

併せて、尊い命を失った数多くの御霊に衷心より合掌いたします。

■NPO なんぷらの支援活動は？

会員の皆さんは、すでに何らかのご支援に参加されていることと思います。3/16の理事会では会員有志の義捐金をまとめて日本赤十字社神奈川支部へ届けることにしました。有志の方は事務局又はキーマンまでお届けくださいますようお願いいたします。

■被災者の一時避難所は大和市社会福祉会館です
4/8まで定員20名、和室集会室(48畳)、毛布の配付、トイレあり、食事の提供は有りませんが自炊はできます。受付:9:00~20:00、TEL261-9202まで。

■支援物資をお考えの方へ

支援物資の条件は新品か未使用品に限ります。タオル類、トイレトーパー、紙おむつ(大人&子供用)、生理用品、せっけん、ゴミ袋、ラップ、ウェットティッシュ、マスク、ボールペンなど求められています。また、種類ごとに分けることもお忘れなく。大和市は31日まで市スポーツセンター室内競技場で受付。詳細は総務課政策調整・統計担当(TEL:260-5332)まで。

■神奈川県はホームステイ・ボランティアを募集中

神奈川県民サポートセンター、TEL:045-312-1121 内線2820、FAX:045-312-4810で募集中です。受け入れ要件は ①責任を持って安定した学びと生活環境を提供できること ②一学期以上できれば一年間程度受け入れ可能なこと ③必要な生活スペースの提供可能なこと ④寝具、生活用品食事の提供が可能なこと ⑤ホームステイ受け入れに要する費用を負担いただけることなどが条件となっています。詳細は次のホームページをご覧ください。

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f100652/> 申込書も出ています。(大和市民活動センターニュースレターを参照)

2011年なんぷら事業がスタート

2月12日(日)11:00から公所自治会館ホールにおいて“新年の集い”を開きました。会員48名(委任状18名)が参加し、前年度の収支報告と今年1月から12月末までの1年間の事業計画が承認され、なんぷら事業のエンジンが始動しました。今年はホームサロンやなつかしの映画サロン、ふれあいコンサート、コーヒーショップのお手伝い、そして人材ネットワークサービスにおける小中学校への椅子や机などの再生利用(スクール・エコリユース事業)の受託、網戸張り、庭仕事、雨水タンクの設置支援と幅広い貢献を進め、地主のご協力で拓いた第1第2なんぷら農園並びにぎんなん農園の耕作を通したふれあいの場を進めることとなります。また、地元の生活文化を遺すことにも挑戦するとしになります。

総会の部のあと、煮込みうどんの軽食で昼餐会を楽しみ散会しました。

震災の被災者をしのび次の事業を中止します

第4、5回 なつかしの映画サロン 3/19、4/21 及び
第5回ふれあいコンサート 5/15(日)を中止します。

カフェ・ド・スプリング

ボランティア募集

シャロームつきみ野の運営に当たっているNPO法人シニアネットワークさがみ主催の標記コーヒーショップは5月1、2、3日の3日間開店します。なんぷらの皆さんへ応援の依頼がきました。昨秋は境川沿いのお店に200人を超える人が立ち寄り楽しいふれあいの場となりました。一緒に楽しんでみませんか。

①ボランティア定員:1日3名程度(男女、年齢を問わず)

②時間:1日又は午前午後のいずれか半日

③無給ですがお昼に軽食が出ます

④ボランティアいただく内容:コーヒーやケーキのサービス(接待)、レジ、お客さんとおしゃべりなど

コーヒーショップのメニュー

コーヒー100円(お代わり自由)、ケーキ100円

○手作り品などの展示即売ができます

絵画や絵手紙、刺繍や編み物、せっけんや蠟燭、写真やタオル帽子など趣味的な作品。無農薬野菜も歓迎です。なんぷら事務局まで事前にお申し出ください。ただし、当日の展示や販売、値段付けからレジまで出品者が行い、後片付けまで責任もっていただきます。

＜人材ネットワークサービス の動き＞

■ 1～3月の活動

①なんぷら農園の集い1/23午後3時～公所自治会館和室にて②新春タオル帽子づくり講習会1/26(水)午前10～大和市民活動センターにて、③庭木の整理打ち合わせなどでした。なんぷら農園の耕作希望者からの相談が入っています。

■ 公所酒まんじゅう作り参加者募集

公所の家庭では、古くから祭りのときに酒まんじゅうを作り振舞う習慣があったそうです。現在、酒まんじゅうを作る人は公所にお2人となってしまいました。この習慣が薄れた主な理由は、麴種を使って熟成させながら作るので手間隙かかるためだといえます。なんぷらでは、お二人がお元気なうちに習って遺しておきたいと思えます。そして映像に記録する予定です。次のスケジュールで進めますので参加希望者は事務局までお申し出ください。

①座談会:5月下旬ごろ

②講習会:6月下旬～7月ごろ(麴種を仕込んでから酒まんじゅうが出来るまで5、6日掛かります)

■ 網戸張り及び雨水タンク設置の窓口きまる

間もなく蚊の発生時期を迎えます。古くなった網戸の張り替えをお手伝いします。また、雨水の利用による下水道料金の節約と災害時の水の有効利用に備え雨水タンクの設置の好機です。なんぷらでは、材料の選定、助成金申込み手続きから設置までリズナブルな費用にてご支援いたします。

☆お問合せは、046-274-4574 沢田耕太郎さんまで。

■ ホームサロンが始まりました

先日、ホスト役の岡部さんとお打ち合わせした結果、次のことが決まりましたのでお知らせします。

☆開催日:月1回4月は21日16:00～18:00

とりあえず映画サロンの日とし、日程変更や次回の内容についてはアイデアを出し合いながら進めます。

☆サロン会場は岡部さん宅とします。

☆参加の方法は、ネットワークアドレスを使って、事前にお電話又は直接岡部さんに連絡をしてください。急用での取り消しも同様です。

ホームサロンは何でも話し合える気楽な会となりますよう、皆さんの参加をお待ちしています。

＜イベントのお知らせ＞

■ なつかしの映画サロン

高齢の皆さんが楽しみにしてくださっている表記映画サロンを東北関東大地震の被災者を想い上映を一時お休みしております。被災地の復興はこれから長帳場となることが予想されます。私たちが映画を通してふれあい元気な気持ちで支援していくことを願い次のスケジュールで再開いたします。

・第4回 愛染かつら(昭和13年作)5月21日

・第5回 地獄門(昭和23年作)6月11日

・第6回 王将(昭和23年作)7月16日

・第7回 お遊さま(昭和26年作)9月17日

いずれも公所自治会館にて、土曜日、14:00上映です。

■ ハウスメンテマスター3級検定講座

6月12日(日)ポリテクセンター関東(希望が丘)において開かれます。受講料は3千円(教材込み)、主催はLP職人倶楽部よこはま、申込み先は045-442-3048です。なお、近々なんぷらに案内が届く予定です。

■ ネットワーク・アドレスの配付(お願い)

会員の皆さんに標記アドレスを配布します。各グループにキーマンの方が1名います。キーマンはこれまで同様なんぷら新聞を配付します。なお、アドレスが外に漏れるようなことの無いよう保存にはご注意願います。

＜あとがき＞

・春早々、予測を超えた出来事に遭遇し、国難といえる状況を迎えました。なんぷらのふれあいと助け合いが今こそ必要となっています。私たちの力を少しでも「なんでもプラス」に向けたいものです。

・間もなく桜が開花する季節です。お散歩のコースに“なんぷら農園”を加えてお楽しみください。

・Sさんから聞いた話です。公所では“うどん”のことを“そば”と云い人が集まると何かにつけて“そば”を振舞う習慣があり、お開きの合図となつていとも聞きます。長年の知恵から生まれた合理的な習慣だと思います。

・今回の大地震で家具転倒防止策を講じていて安全と無事を得られた方がおられます。皆さんからのご希望があれば、転倒防止の講習会を開きたいと思えます。ご意見、ご希望などお寄せください。

・福島原発の放射能汚染が広がっています。水や食べ物、情報の収集と冷静な行動が大切です。買い貯めしたくなるのは人情ですが、ちょっと立ち止まって被災者の方々のことに思いを巡らす余裕を持ちたいものです。